

主な内容

千葉県議会議員一般選挙 ほか 10・11面

7月から自転車乗車用ヘルメットの
購入費用を一部助成します ほか 12面

発行／浦安市
所在／〒279-8501 千葉県浦安市
猫実一丁目1番1号
編集／企画部広聴広報課
☎047・351・1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

各記事に掲載しているIDを市ホームページの「広報ページID検索」に入力すると、該当のページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます



家の防犯対策を 考えてみませんか

昨今、強盗などの凶悪事件が増えています。
犯罪は、私たちの身近にあり、いつ、自分の身に降りかかるかわかりません。
どうすれば、財産や家族、自分を守るか一緒に考えてみませんか。
【問】市民安全課 ☎712・6590



釣りのできる護岸整備



三方を水に囲まれている浦安市において、水辺の活用はまちづくりの大きなテーマです。

旧江戸川沿いには今でも船宿があり、毎朝、東京湾の釣り場へ多くの船が出航していきます。このほかにも、旧江戸川護岸や東京湾に面した海岸護岸からも釣りを楽しむことができます。

現在、以前から開放していた高洲護岸に続き、日の出、明海海岸の開放に向けた整備を進めており、この整備によって安全に海のそばまで行くことができるようになります。

コロナ禍において、屋外の娯楽として「釣り」が注目されてきました。

浦安での釣りといえばハゼというイメージがある方も多いと思いますが、千鳥地区のクリー

ンセンター付近の護岸ではスズキ、クロダイなどの大物やタコ、カレイなどもあがっているとインターネット上でも紹介されています。

しかし、この護岸については、安全性が確保されていないことから、千葉県は立ち入り禁止としています。また、釣りをする方の迷惑駐車によってクリーンセンターへの収集車の通行に支障が出るなどの問題も発生しています。

市では、こうしたことに対処するため、この千鳥地区の護岸をにぎわいの場、憩いの場として活用していくという逆転の発想を持って千葉県と協議を重ね、釣りのできる護岸として整備していくこととしました。

この釣り護岸は、ほかにあるような沖に釣り

栈橋を構築するというものではなく、海への転落を防止するためのフェンスを設置するなどの安全対策のほか、護岸とのアクセスのための階段の整備、迷惑駐車対策としての駐車場整備を行い、気軽に釣りができるような場所を整備します。

将来的には、隣接地に整備を予定している公園との一体的な活用も考えられ、浦安の新しい水辺の魅力発信拠点になるものと考えています。

海とともに歴史を刻んできた浦安だからこそ、水辺を市民の暮らしの中に取り入れていくことが大切です。

浦安市長 内田 悦嗣

どのような家が 強盗や空き巣に 狙われやすい?

どのような家が強盗や空き巣などの犯罪に狙われやすいのでしょうか。

その特徴を踏まえ、強盗や空き巣などの犯罪の被害を未然に防ぐための効果的な防犯対策をご紹介します。

SNSの発信にも注意が必要

犯人は投稿した写真などから住んでいる場所や留守の時間などを詳しく調べて犯行に及んでいる場合があります。極力、個人情報や個人情報のわかるものについては投稿を控えることが大切です。

電話アンケートなどには注意

昨今の犯罪事件では、個人情報の記載されている匿名簿が出回っていることが分かっています。個人情報流出しないように知らない人や企業からの電話、メールでのアンケートなどには不用意に答えないようにしましょう。

強盗犯や空き巣は事前の下見をしている!?

強盗や空き巣などは、あらかじめどの家に入るのか下見をして決めている場合が多いです。家の周りに不審者がウロウロしている、表札や郵便受けなどにマーキングがないか、定期的に確認しましょう。

浦安の犯罪について

浦安市で発生する犯罪の約3割強が自転車盗難で、その被害は後を絶ちません。基本的な対策で防犯対策をしましょう。

- 防犯登録をする
- 自宅に駐輪するとき必ず施錠
- ワイヤー鍵などの二重ロックの徹底



高いブロック塀で囲まれた家は、外からの視線を遮ってくれるから一見、防犯効果がありそうなんですけど、実は逆なんだよなあ。

POINT

周囲が高いブロック塀や植栽などで囲まれた家は、居住者や近隣住民の死角になる場所が多くあります。そのため、犯人が敷地内においても気付かれにくく、時間をかけて侵入することができます。

玄関ドアには防犯性の高い補助錠をつけてワンドア・ツーロックにする、防犯カメラを家の死角部分に設置するなどの対策が有効です。

また、窓ガラスに防犯フィルムを貼るのも有効な手段です。

「まさか2階からは侵入しないだろう」と安心しがちな人が多いよなあ。

POINT

2階は安心と思い、施錠せず油断している方も少なくないのではないのでしょうか。しかし、2階からでも犯人は室外機やゴミ箱などを足場にして侵入してきます。なぜなら、腰高のバルコニーは犯人が身を隠しやすく、時間をかけて侵入することができるからです。一度家の周辺を見回してみて、簡単に窓から侵入できそうな場所に足場になりそうな物がある場合には、物を移動するなど対策を検討しましょう。



築年数のたった家だなあ。車庫の車に高齢者マーク(もみじ・四つ葉)がついているってことは高齢者が住んでいるのかな?

POINT

高齢世帯は子どもが巣立ち、夫婦2人で生活している場合が多く、犯人に狙われやすい傾向にあります。在宅時でも、玄関や人のいない部屋の窓には必ず鍵をかけるなどの基本的な対策を心がけましょう。また、高齢者マークは、着脱可能なマグネット式などのものを使い、こまめに取り外したり、車庫に防犯センサーや防犯ライトを備え付けることも有効な手段です。



家の裏手に勝手口があるなあ。人目に付きにくいからゆっくり家に侵入ができそうだな。

POINT

勝手口を頻繁に使う家は、出入りしやすいように、施錠をしない場合が多くあります。また、玄関よりも解錠しやすい簡易的な鍵を使用している場合が多く、犯人に狙い目であると判断されやすい場所です。わずかな時間でも施錠を確実にする、防犯性の高い鍵に交換することが防犯対策として有効です。



マンションは 本当に安全？

マンションはオートロックがついていたり、管理人が常駐しているなど比較的セキュリティが高い物件が多いです。一戸建てよりも強盗や空き巣に入られにくいと考えている方も多いのではないのでしょうか。しかし、マンションが100%安全なわけではありません。強盗や空き巣に狙われやすいマンションの特徴を理解して、事前に対策をすることが大切です。



オートロックだからと言って 安心はできない

オートロック付きマンションは、一見防犯性に優れているように見えますが、「オートロックがあるから安心だ」と玄関や窓を施錠しない住民が多くなる傾向があります。オートロック付きマンションは、住民や宅配業者の後を付いていくだけで犯人は簡単にマンション内に侵入できてしまいます。オートロックだからと過信せず、部屋を空けるときはわずかな時間でも玄関や窓の施錠を必ずすることが大切です。

留守かどうかわかりやすい

犯人は住人が留守の間に侵入します。そのため、例えば、夜遅くまで室内の明かりや玄関の外灯の明かりがついていなかったり、洗濯物が夜になっても干しっぱなしになっていたりすると、住民が留守であると犯人に知られてしまいます。

外灯や室内灯をタイマー設定して自動で点灯する、洗濯物は室内干しにするなどの対策が有効です。

屋上へ簡単に行けるマンション

簡単に屋上まで上がれるマンションは空き巣などに狙われやすいとされています。なぜなら、「最上階だから」と安心した住民が窓をきちんと施錠せずに生活しているケースが多くあるからです。

屋上からの侵入の手口として、屋上からロープをつたってバルコニーへと下りる方法があります。そのため、業者以外の人間が簡単に屋上へ立ち入れるようなマンションは窓の施錠をしっかりする、防犯フィルムを貼るなどの対策が有効です。

新築マンションなど

新築マンションなどでは、住民が入居して間がないため、住民同士の顔を知らないことが多いです。そのため、不審者がウロウロしても通報されにくい傾向にあるため注意が必要です。

大規模改修中のマンションは注意が必要

大規模改修工事では、建物を囲う足場が組まれることが多く、工事中に犯人は足場をつたって上層階のベランダに容易に出入りすることが可能になります。また、このとき、足場そのものがシートで覆われているため、外からは見えにくく隠れることができます。

工事の際には、バルコニーに面した窓は確実に施錠をする、外出時には留守と悟られないようタイマーで室内の電気をつけて、在宅しているように見せかけるなどの工夫も必要です。

マンションよりアパートの方が狙われやすい？

一般的にマンションよりアパートの方が、以下の理由から狙われやすいとされています。

- アパートは、マンションに比べて低層の建物である
- 常駐の管理人がいない
- オートロックや防犯カメラなどの防犯設備が整備されていない場合がある
- 外階段を利用するため、外部から居住者が外出したことが確認しやすい・各部屋の玄関前まで行きやすい作りになっている
- 単身者の入居者も多いので、昼間は仕事などで不在となることが多い

防犯の基本は施錠の徹底です。近くのコンビニエンスストアへの買い物やごみ出しなど、短時間の外出の際はもちろん、在宅時でも必ず施錠しましょう。また、留守の多い家だと思われぬように、郵便物をためない、洗濯物はその日のうちに取り込むなど日頃からしっかり対策を講じることも大切です。

そのほかにも、アパートの2階以上の部屋は、1階と比べて侵

入犯罪の被害は少ないと思うかもしれませんが。ところが、ベランダを経由して窓ガラスから部屋に侵入してくるケースも多く、ベランダ周りにもしっかりと防犯対策が必要です。侵入経路になりやすいベランダは、なるべく物を置かず死角となる場所を減らし、防犯フィルムや補助錠、窓用の防犯ブザーといった窓破り対策をしておく効果的です。